



生活と環境

あなたが主役！「ごみダイエット瀬戸内」

ごみ分別の徹底にご協力をお願いします！

皆さんは、ごみの分別に自信がありますか？
「少しだけなら」と軽い気持ちでごみを混ぜてしまふとごみ処理関係者へ大変な負担がかかります。



また、分別が不十分で回収されない場合、いつまでもごみステーションに残り続け、臭いや害虫が発生したり、景観を損なったりして、近所の皆さんにも迷惑となります。

ごみの分別を徹底し、出し方のマナーを守れば、リサイクルもしやすくなります。ごみ減量につながります。市民一人一人が分別意識を持ってごみを出すようにしましょう。

なお、資源ごみについては、次のことに注意して出してください。

- ・カン類
- ・中を水洗いする。
- ・スプレーカンなど必ず使いきり、穴を開けて中のガスを抜く。
- ・ペットボトル類
- ・ラベルとキャップを外し、中を水洗いし、つぶす。
- ・びん類

フタ、キャップ類を外し、中を水洗いする。

※金属のキャップや缶詰のフタは、「金属混合類」、長船地域は、「金属混合類」、長船地域は、「金物類」として、出してください。

ごみ分別の詳細は、本年度の「ごみ収集日程表」と平成21年4月に配布した「家庭ごみ分別マニュアル」をご確認ください。ご不明な点は、生活環境課へお問い合わせください。

■問い合わせ先
生活環境課

☎0869-22-1899

警察安全情報

夏期における水難事故防止

気温の上昇とともに水辺で活動する機会が多くなります。

毎年6月から8月にかけて、子どもたちが楽しい水遊び中に、事故に巻き込まれてしまう痛ましい出来事が多く発生し、尊い命が奪われています。

次のことに気を付けて子どもたちを守りましょう。

保護者の皆さんへ

子どもから目を離さない

幼い子どもは思わぬ行動をとります。海や川などでは、絶対に目を離さないようにしましょう。

危険な場所に近づけない

子どもに平素から危険な用水やため池などを具体的に挙げて、近づいたり遊んだりしないように教えておきましょう。

行き先をしつかり確認

子どもが出かけるときは、「行き先」「帰宅予定時間」「友達の名前」を確かめましょう。



認し、子どもだけで水遊びや水泳に行かせないようにしましょう。

地域の皆さんへ

危険な場所には看板設置

危険な場所には柵や立て看板を設置するなど、地域ぐるみで子どもを水難事故から守りましょう。

注意の一声を掛ける

増水した用水や危険な河川・ため池の周辺で子どもたちだけで遊んでいるところを見かけた場合は、自分の子どもでなくても注意しましょう。

■問い合わせ先
瀬戸内警察署

☎0869-34-6110

飼い犬がいなくなったらすぐに連絡を HPに「迷い犬保護情報」を掲載！

市では、迷い犬を見つけると市役所に保護しますが、飼い主が名乗り出ない場合、岡山県動物愛護センター（岡山市北区御津）へ引き渡します。その後約1週間の収容期間を過ぎると殺処分されます。

保護した犬たちは、とても寂しがります。かわいそうな犬を減らすために、飼い犬がいなくなったら、一刻も早く生活環境課まで電話連絡をお願いします。

なお、市では、少しでも早く飼い主を捜すため、6月から「迷い犬保護情報」を市のホームページに掲載しています。保護した日時や場所、特徴、犬の写真、収容期限などの情報を提供します。

休日や夜間に保護した場合は、掲載まで時間がかかる場合がありますので、心

保護した日時	保護した場所	保護した場所	色/町尾張
6月1日 午後1時30分	瀬戸内	性別	メス
種類	雑種	毛色	白・茶
体高	中型	保護物	首輪(黄)
収容期限	6月7日		

「迷い犬保護情報」(見本)

当りのある人は定期的に確認してください。

また、飼い主に義務付けられている犬の登録により交付される鑑札から飼い主が分かります。「鑑札Ⅱ名札」として、首輪などに付けるようにしてください。

■問い合わせ先

生活環境課

☎0869-22-1899

HP 迷い犬保護情報

<http://www.city.setouchi.jp/life/mayoinu.html>

集中豪雨の災害から身を守るために

梅雨から初秋にかけて、集中豪雨が発生しやすい時期となります。

集中豪雨とは、狭い地域に集中し短時間に大量の雨が降る現象で、予測がしづらいといわれています。また、ここ数年は、1時間降雨量が50ミリ以上の滝のような激しい雨が降るゲリラ豪雨により、大きな被害が発生しています。

一般的に日雨量が70ミリ

を超えるると水害が発生し始め、200ミリ以上になると斜面崩壊などを含む大規模な災害が起こるといわれています。集中豪雨に対する備えとして、次のことに注意してください。

- ① 日ごろから天気予報に注意し、最新の予報をチェックする。
- ② 非常時の持ち出し用の荷物を定期的に点検する。
- ③ 防災行政無線や広報車からの避難勧告・指示などの放送を聞き逃さない。
- ④ 避難に当たっては、大雨が降っていたり、浸水している場合もあるので、慎重に行動する。

住んでいる地域が、過去に水害や土砂災害が発生していないことも、絶対安心といえることはありません。家族などと日ごろから災害について話し合いをおきましょう。

■問い合わせ先
消防本部警防課

☎0869-22-1492

全国海難防止強調運動

— 自分の身は自分で守る —

海上保安庁では、船舶海難を防止するため、マリンスポーツシーズンを迎える7月16日(金)から31日(土)までを「全国海難防止強調運動」期間として、「海難ゼロへの願い」をスローガンに官民が一体となった海難防止運動を推進します。

▷ 自己救命確保3つの基本

- ① ライフジャケット着用
- ② 携帯電話携帯
- ③ 海の緊急電話118番

■問い合わせ先

玉野海上保安部

☎0863-32-3589

